

# 金沢美術工芸大学 令和8年度一般選抜 試験問題

日本画	<p><b>実技試験Ⅰ（着彩描写）</b> モチーフ「ゴブラン織の布」「フィルム入りレタス（半切り）」「解氷スプレー缶」「身欠にしん」</p> <p><b>実技試験Ⅱ（着彩写生及び面接）</b> モチーフ「金魚（オランダ シンガシラ）」 問題「与えられた金魚の3つの姿を、おおよそ2倍の大きさとで描きなさい」</p>
油 画	<p><b>実技試験（木炭デッサン又は鉛筆デッサン）</b> 石膏像モリエール胸像をデッサンしなさい。背景の有無は自由とするが、試験用紙は縦位置で使用する。こと。</p> <p><b>作品提出（油彩又はアクリル）・面接</b> やわらかいものを手に持った自画像を描きなさい。</p>
彫 刻	<p><b>実技試験Ⅰ（木炭デッサン又は鉛筆デッサン）</b> 「石膏像 ガッタメラータ」をデッサンしなさい。</p> <p><b>実技試験Ⅱ（塑造及びスケッチ）</b> 以下の言葉から作品を自由に構想し、〔課題1〕スケッチおよび〔課題2〕塑造を制作しなさい。 制作にあたっては、自分の表情や身体をよく観察すること。 「これから何かを始めようとする私の姿」</p>
芸術学	<p><b>実技試験</b> モチーフ「ぬいぐるみ」（小型、2点以内） 与えられたモチーフをよく観察し、モチーフの部分または全体を解答用紙（ケント紙）にデッサンしなさい。また、別紙の新聞記事を読み、モチーフと関連付けて想像する自身の作品、展示（展覧会）、プロジェクトなど、それらのプランの概要を、文章や図を用いて、モチーフのデッサンとともに解答用紙（ケント紙）に構成しなさい。なお、モチーフと新聞記事から想像した作品、展示（展覧会）、プロジェクトなどは、自由な発想による実現不可能なものも可能で、アイデアスケッチ、ラフデッサンでもよい。</p> <p><b>小論文</b> 実技試験問題にある「与えられたモチーフと新聞記事から想像した自身の作品、展示（展覧会）、プロジェクトなど」のコンセプトを、400字程度に要約し、解答用紙（原稿用紙）に記述しなさい。</p>
ホリスティックデザイン	<p><b>実技試験（デッサン）</b> 三面図から読み取った立体（材質はアルミニウムを想定）を、配布されたモチーフ（人形）と自由に組み合わせ描写しなさい。</p> <p><b>実技試験（色彩構成）</b> 「海」から発想を広げ、多様な記憶*にある美を表現しなさい。 作品を見る人に向けたメッセージを、メッセージ用紙に35文字以内で書き、ボード裏面中央に貼りなさい。 *「多様な記憶」とは、個人の記憶、生物としての記憶など</p> <p><b>実技試験（立体構成）</b> テーマ：「今にも動き出しそうなかたち」 与えられた材料「ケント紙」を用いて「コマ」を支える造形物を作り、それらで空間を構成しなさい。どのような空間を意図したかを説明用紙に100文字以内で書きなさい。</p>
インダストリアルデザイン	<p><b>実技試験（鉛筆デッサン）</b> 「一升瓶」「酒器グラス」「天ぶら鍋セット」「温度計」「すくい網」「布巾」「竹製トレイ」を描きなさい。</p> <p><b>実技試験（色彩表現）</b> モチーフ（王冠）の形の特徴を捉えて自由に構成し、美しく色彩表現しなさい。</p> <p><b>実技試験（立体表現）</b> 与えられた粘土を全て使い、2つの幾何形態を美しく繋ぎ合わせた立体を制作しなさい。</p>
工 芸	<p><b>実技試験Ⅰ（鉛筆デッサン）</b> 「与えられたモチーフを台上に配置し鉛筆デッサンしなさい」 モチーフ：「水の入ったビニール袋」一個、「スターチス」一束、「花器」一個、「荒縄」一本、「米袋」一袋、「ドラゴンフルーツ」一個</p> <p><b>実技試験Ⅱ（立体表現）</b> 与えられた「殻付き落花生」をモチーフとして、粘土を用いて自由に立体表現しなさい。</p> <p><b>実技試験Ⅱ（色彩表現）</b> 与えられたモチーフを条件に従って構成し、色彩表現しなさい。 モチーフ：「キャベツ」「アルミホイル」「紐」</p>

令和 8 年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部  
美術科 油画専攻 一般選抜入学試験

実技試験

(木炭デッサン又は鉛筆デッサン)

問題

石膏像モリエール胸像をデッサンしなさい。背景の有無は自由とするが試験用紙は縦位置で使用する事。

R8 金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 彫刻専攻  
令和8年度 一般選抜  
実技試験Ⅰ 木炭・鉛筆デッサン（令和8年3月11日実施）

## 試験問題

「石膏像 ガッタメラータ」をデッサンしなさい。

R8金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 彫刻専攻  
令和8年度 一般選抜 実技試験Ⅱ 塑造及びスケッチ(令和8年3月12日実施)

[試験問題]

以下の言葉から作品を自由に構想し、[課題1] および [課題2] を制作しなさい。制作にあたっては、自分の表情や身体をよく観察すること。

「これから何かを始めようとする私の姿」

[課題1] スケッチ (8:30～12:00) 配点 200 点

試験問題をよく読み、配布された画用紙に鉛筆で、[課題2]のためのスケッチを制作しなさい。

\*タイトルおよび制作意図は、字数・様式を問わず、スケッチに直接記入すること。

\*画用紙は縦横自由とし、画用紙の右上に受験番号を必ず記入すること。

[課題2] 塑造 (10:30～16:45 休憩 12:00～12:45) 配点 500 点

試験問題をよく読み、配布された材料の範囲内で塑造を制作しなさい。

\*鏡は割れやすいため、必ずイーゼルに掛けた状態で使用すること。

\*鏡が割れた場合は、速やかに係員へ連絡すること。

〈制作上の注意〉

- 試験開始から 10:30 までは[課題1]のみ制作すること。
- 10:30 以降は[課題1]または[課題2]のいずれを制作してもよい。
- ただし、[課題1]の画用紙は 12:00 に回収する。
- この問題用紙は試験終了後に回収するので、持ち帰らないこと。

令和8年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 芸術学専攻

一般選抜入学試験

### 実技試験問題

与えられたモチーフをよく観察し、モチーフの部分または全体を解答用紙（ケント紙）にデッサンしなさい。また、別紙の新聞記事を読み、モチーフと関連付けて想像する自身の作品、展示（展覧会）、プロジェクトなど、それらのプランの概要を、文章や図を用いて、モチーフのデッサンとともに解答用紙（ケント紙）に構成しなさい。

なお、モチーフと新聞記事から想像した作品、展示（展覧会）、プロジェクトなどは、自由な発想による実現不可能なものも可能で、アイデアスケッチ、ラフデッサンでもよい。

令和8年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 芸術学専攻

一般選抜入学試験

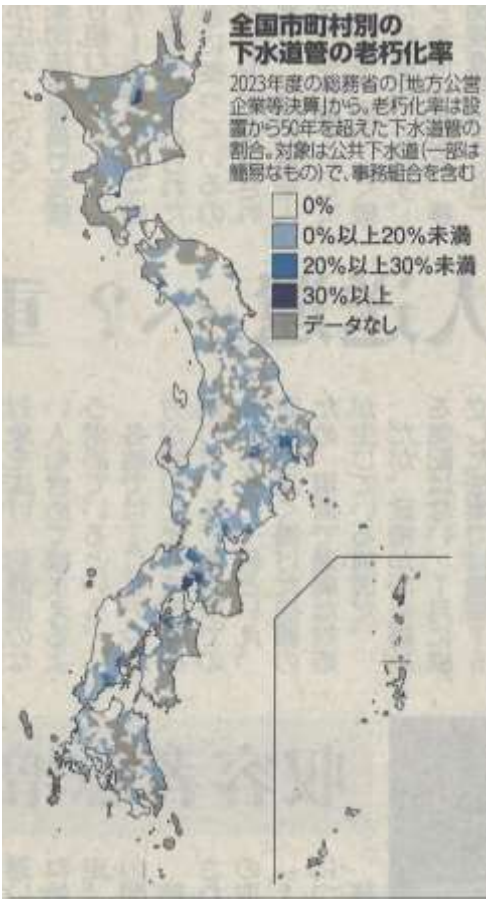
小論文試験問題

実技試験問題にある「与えられたモチーフと新聞記事から想像した自身の作品、展示（展覧会）、プロジェクトなど」のコンセプトを、400字程度に要約し、解答用紙（原稿用紙）に記述しなさい。

# 下水管300<sup>キ</sup>に陥没リスク

## 国交省600<sup>キ</sup>調査分 腐食や破損発見

埼玉県八潮市で1月に起きた道路陥没事故を受け、国土交通省が全国の古くて大きい下水管を調べたところ、計300<sup>キ</sup>メートルで陥没につながるリスクがあることがわかった。調査結果が出たうちの約半分にあたる。腐食やたるみ、破損などの不具合が見つかったという。国交省が17日、事故の再発防止策などを検討する有識者委員会でも報告した。



国交省は3月から、直径2メートル以上で敷設から30年以上が経過した約5千<sup>キ</sup>の下水管について「特別重点調査」を実施している。目視やテレビカメラを使い「腐食」「たるみ」「破損」の3項目について、劣化が進んだ方から順にA〜Cの3ランクでそれぞれを評価。一つでもAがある場合は原則1年以内に速やかな対策が必要な「緊急度1」、一つでもBがある場合は応急措置をした上で5年以内に対策が必要な「緊急度2」と判定する。5千<sup>キ</sup>のうち、八潮市の現場と似た地盤に敷設されている▽高低差があるなど管路が腐食しやすい▽過去に陥没があったり腐食が確認されたりした▽箇所など約810<sup>キ</sup>を優先的に調べており、この日は先に調査が終わった621<sup>キ</sup>分の状況を国交省が報告した。

それによると、対策が必要な不具合が見つかった管路は計297<sup>キ</sup>で、結果が出たうちの48%にのぼった。このうち71自治体が管理する72キロが緊急度1と判定され、残りの225<sup>キ</sup>は緊急度2だった。緊急度1の管路が長かったのは、愛知県管理の11・4<sup>キ</sup>、茨城県10・5<sup>キ</sup>、大阪府守口市4・7<sup>キ</sup>などだった。

国交省が、腐食しやすい管路約3500<sup>キ</sup>を対象に5年かけて実施していたこれまでの法定点検では、緊急度2はBが一つの場合は当てはまらなかった。陥没があった八潮市の下水管では、埼玉県による3年前の独自の点検で腐食についてのみBだったため、「ただちに対策が必要な状況ではない」と判断された。今回の調査では判定基準が見直されていた。

令和8年度

金沢美術工芸大学

デザイン科・ホリスティックデザイン専攻

実技試験 デッサン

【 問題 】

三面図から読み取った立体（材質はアルミニウムを想定）を、  
配布されたモチーフ（人形）と自由に組み合わせ描写しなさい。

【 条件 】

- ・ 描写する人形は1つとする。
- ・ 三面図から読み取り描写する立体の数は自由とする。
- ・ 問題文に記載されているモチーフ以外を追加しないこと。
- ・ 画用紙の縦横は自由とし、  
裏面に作品の上方向を示す矢印（↑）を大きく記入すること。

以上

令和 8年 3月6日

令和 8 年度

金沢美術工芸大学

デザイン科・ホリスティックデザイン専攻

実技試験 色彩構成

【 問題 】

**「海」から発想を広げ、多様な記憶\* にある美を表現しなさい。**

作品を見る人に向けたメッセージを、  
メッセージ用紙に35文字以内で書き、ボード裏面中央に貼りなさい。

\* 「多様な記憶」とは、個人の記憶、生物としての記憶など

【 条件 】

- ・画面の端から端をつなぐ、効果的な線を一本以上入れること。
- ・ボード全面に着彩すること。
- ・画用紙の縦横は自由とし、  
裏面に作品の上方向を示す矢印（↑）を大きく記入すること。

以上

令和 8 年度

金沢美術工芸大学

デザイン科・ホリスティックデザイン専攻

実技試験 立体構成

【 問題 】

**テーマ：「今にも動き出しそうなかたち」**

与えられた材料「ケント紙」を用いて「コマ」を支える造形物を作り、それらで空間を構成しなさい。どのような空間を意図したかを説明用紙に100文字以内で書きなさい。

【条件】

- ・「コマと紐」はA3台紙に接しないこと。
- ・「コマと紐」の加工は不可。二つとも使用すること。
- ・立体物の大きさはA3台紙（段ボール）の幅・奥行き範囲とし、高さ30cmを超えないこと。

【注意事項】

- ・カッター作業は専用台紙（黄板紙）の上で行うこと。
- ・「コマと紐」は造形物に固定すること。
- ・造形物は台紙にしっかり固定すること。

以上

令和8年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部  
デザイン科 インダストリアルデザイン専攻  
実技試験 鉛筆デッサン 問題用紙

受験番号	
------	--

問題：

「一升瓶」「酒器グラス」「天ぷら鍋セット」「温度計」「すくい網」  
「布巾」「竹製トレイ」を描きなさい。

条件：

1. 全てのモチーフを画面に納めること。
2. モチーフの下の白い台は描かないこと。
3. 用紙の縦横は自由とする。

注意：

1. 試験問題に関する質問は受け付けない。
2. 問題用紙の空欄はメモに使用し、受験番号を記入し画用紙と一緒に提出すること。
3. 画用紙は受験番号枠側を裏面とし、デッサンは表面に描くこと。

令和8年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部

デザイン科 インダストリアルデザイン専攻

実技試験 色彩表現 問題用紙

受験番号	
------	--

問題：

**モチーフ(王冠)の形の特徴を捉えて自由に構成し、美しく色彩表現しなさい。**

条件：

1. 与えられたモチーフの形状を自由に使って構成すること。  
(モチーフの用途・機能は考慮しなくてよい)
2. モチーフの色・素材を自由に変えて描いてよい。
3. モチーフはいくつ描いてもよい。
4. モチーフの拡大縮小は自由に行ってよい。
5. モチーフは画面からはみ出してもよい(トリミングしてよい)。
6. ボードの裏面中央に作品の上方向を矢印(↑)で記載すること。
7. 画面内に塗り残しを作らないこと。
8. 用紙の縦横は自由とする。
9. 作品説明シートに作品の意図を140文字以内で記述すること。

配布物：

1. KMKケントボード A3 (3mm 白)1枚
2. 問題用紙
3. 草案用紙2枚 (足りない場合は裏面を使用すること)
4. モチーフ(王冠)3個
5. 作品説明シート

注意：

1. 試験問題に関する質問は受け付けない。
2. マスキングテープの使用は認めない。
3. 色見本帳の使用は認めない。
4. ケントボードは番号枠のある側を裏面とし、色彩表現は表面に描くこと。
5. 配布物は全て試験終了後に回収する。
6. 筆洗の廃水は、教室の流し台に捨てること。

問題：

与えられた粘土を全て使い、  
2つの幾何形態を美しく繋ぎ合わせた立体を制作しなさい。

条件：

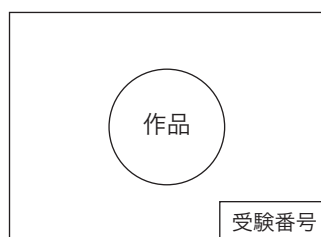
1. 組み合わせる2つの幾何形態は、1種類でも2種類でも可とする。
2. 造形物の表面は平滑に仕上げること。
3. 接地面を設け、容易に転倒しない形態にすること。
4. 作品は粘土板(小)からはみ出さないこと。
5. 作品は粘土板(小)に載せた状態で提出すること。
6. 作品説明シートに作品の意図を140文字以内で記述すること。

配布物：

1. 粘土3kg
2. 粘土板(大)
3. 粘土板(小)
4. 雑巾
5. ヘラセット(金切鋸刃・切り弓・彫塑ベラ・平線かきベラ)
6. 霧吹き
7. バケツ(水入れ用)
8. 問題用紙
9. 草案用紙2枚(足りない場合は裏面を使用すること)
10. 作品説明シート

注意：

1. 試験問題に関する質問は受け付けない。
2. 配布物は全て試験終了後に回収する。
3. 粘土板(小)に受験番号を右手前として作品を配置し、提出すること。(下図)



作品正面

令和 8 年度 金沢美術工芸大学 工芸科  
実技試験「鉛筆デッサン」

問題

「与えられたモチーフを台上に配置し鉛筆デッサンしなさい」

条件

- ・画面の縦位置、横位置は自由とする。
- ・合板上にモチーフを自由に配置する事。
- ・モチーフの扱いは自由とする。但しモチーフを切断しない事。

注意

- ・草案用紙を配布するので、持参した紙やスケッチブックは使用しない事。
- ・問題用紙、草案用紙、モチーフは試験終了後に回収する。
- ・この問題に対する質問には応じない。

配布物

- ・問題用紙一枚、草案用紙五枚
- ・モチーフ：「水の入ったビニール袋」一個、「スターチス」一束、  
「花器」一個、「荒縄」一本、「米袋」一袋、「ドラゴンフルーツ」一個
- ・解答用画用紙一枚
- ・合板一枚

# 令和8年度 金沢美術工芸大学 工芸科

## 実技試験 「立体表現」

### 問題

与えられた「殻付き落花生」をモチーフとして、粘土を用いて自由に立体表現しなさい。

#### 条件

1. モチーフは加工しても良い。ただし刃物は使用しないこと。
2. モチーフの個数、大きさなどの設定は自由とする。
3. タイトル記入用紙に解答作品のタイトルを記入すること。
4. 使用する粘土の量は与えられた範囲内で自由とする。
5. 解答作品は粘土板小（塑像板）の上に置くこと。また板からはみ出さないこと。

#### 注意

1. 解答作品は試験終了後に採点場所に移動するため、作品が倒れるなど破損がないよう留意して制作すること。
2. 募集要項に指定された持参用具と、配布された道具以外は使用しないこと。
3. 配布された塑像用具は加工しないこと。
4. 粘土の中に異物を入れないこと。
5. モチーフ及び用具、問題用紙、草案用紙など配布されたものを持ち帰らないこと。

#### 配布物

問題用紙1枚

モチーフ： 殻付き落花生10個

タイトル記入用紙1枚、 草案用紙5枚

水粘土8kg、粘土板大（練り用）1枚、粘土板小（塑像板）1枚、塑像用具一式、霧吹き1個、雑巾、水入れ1個、

令和8年度 金沢美術工芸大学 工芸科

実技試験「色彩表現」

問題

与えられたモチーフを条件に従って構成し、色彩表現しなさい。

条件

- ・モチーフは「キャベツ」「アルミホイル」「紐」とする。
- ・「紐」には任意の色を与えること。
- ・画面内でのモチーフの数、大きさ、表現方法は自由とする。
- ・画面は縦位置、横位置自由とする。
- ・画面の上部中央付近に天地を現わす○印を鉛筆で記入する事。

注意

- ・「アルミホイル」を巻いている紙管はモチーフではない。
- ・「キャベツ」「アルミホイル」「紐」の扱いは自由とするが、ハサミやカッターなど刃物の使用は認めない。

- ・持参した紙やスケッチブック等は使用しない事。
- ・問題用紙、草案用紙、モチーフは試験終了後に回収する。
- ・この問題に対する質問には応じない。

## 配布物

- ・問題用紙：1枚
- ・モチーフ：「キャベツ」1/2個、「アルミホイル」1巻、「紐」1本
- ・解答用ボード紙：1枚
- ・草案用紙：5枚